

**令和 8 年度**

**玉川ダム水防連絡協議会**

**資料**



**愛媛県 東予地方局**  
**玉川ダム管理事務所**

# I 玉川ダム の概要

## 1 玉川ダムの概要

玉川ダムは、治水(洪水調節)と利水としての農業用水(不特定かんがい)、上水道用水及び工業用水の4つの目的を持った多目的ダムとして、県が昭和39年4月に調査を開始し、昭和41年4月に着手。昭和43年6月に本体工事に着手し、昭和46年3月に完成したものであり、同年4月から愛媛県東予地方局玉川ダム管理事務所が管理しているものである。

### (1)ダムの諸元

項目	単位	数 値 等	項目	単位	数 値 等
河 川 名		二級河川 蒼 社 川	洪水時最高水位 (サーチャージ水位)	m	EL 158.6
ダ ム 位 置		今治市玉川町龍岡下1番地17	予 備 放 流 水 位	m	(1次)EL 155.2 (2次)EL 154.6
ダ ム			事 前 放 流 水 位	m	EL 154.0
地 質		角閃岩黒雲母花崗岩	堆 砂 面 標 高	m	EL 131.2
形 式		直線越流型重力式 コンクリートダム	総 貯 水 量	m <sup>3</sup>	9,900,000
堤 頂 標 高	m	EL 160.0	有 効 貯 水 量	m <sup>3</sup>	9,100,000
堤 高	m	56.0	利 水 容 量	m <sup>3</sup>	7,400,000
堤 頂 長	m	260.0	堆 砂 容 量	m <sup>3</sup>	800,000
堤 頂 巾	m	4.0	洪 水 調 節 容 量	m <sup>3</sup>	2,300,000
堤 体 積	m <sup>3</sup>	187,000	事 前 放 流 容 量	m <sup>3</sup>	300,000
貯 水 池			放流及び取水設備		
集 水 面 積	km <sup>2</sup>	38.1	門 扉		テンターゲート(巾12.0m×高8.2m) 1門
湛 水 面 積	km <sup>2</sup>	0.64	放 流 管		(径1,100~850mm(減勢バルブ付)) 1条
平常時最高貯水位 (常時満水位)	m	EL 155.8	復 式 取 水 塔		(ローラーゲート1門・スルースゲート4 門) 1基

### (2)洪水調節

計画高水量：ダム地点390m<sup>3</sup>/s 基準地点(高橋)900m<sup>3</sup>/s (50年確率)

洪水調節量：玉川ダム地点における計画高水量(最大流入量)390 m<sup>3</sup>/sのうち200m<sup>3</sup>/sを洪水調節によりダムに貯留して、190m<sup>3</sup>/sをダムから放流し、下流基準地点(高橋)の計画高水量900m<sup>3</sup>/sを700 m<sup>3</sup>/sに低減することにより、下流域の水害を軽減する。

### (3)農業用水(不特定かんがい)

干ばつ時における農業用水の補給を行うため、複式取水塔により表流水を取水しダムから放流する。

対象区域：今治市、 かんがい面積：1,300ha、 かんがい日数：117日 (6月6日~9月30日)

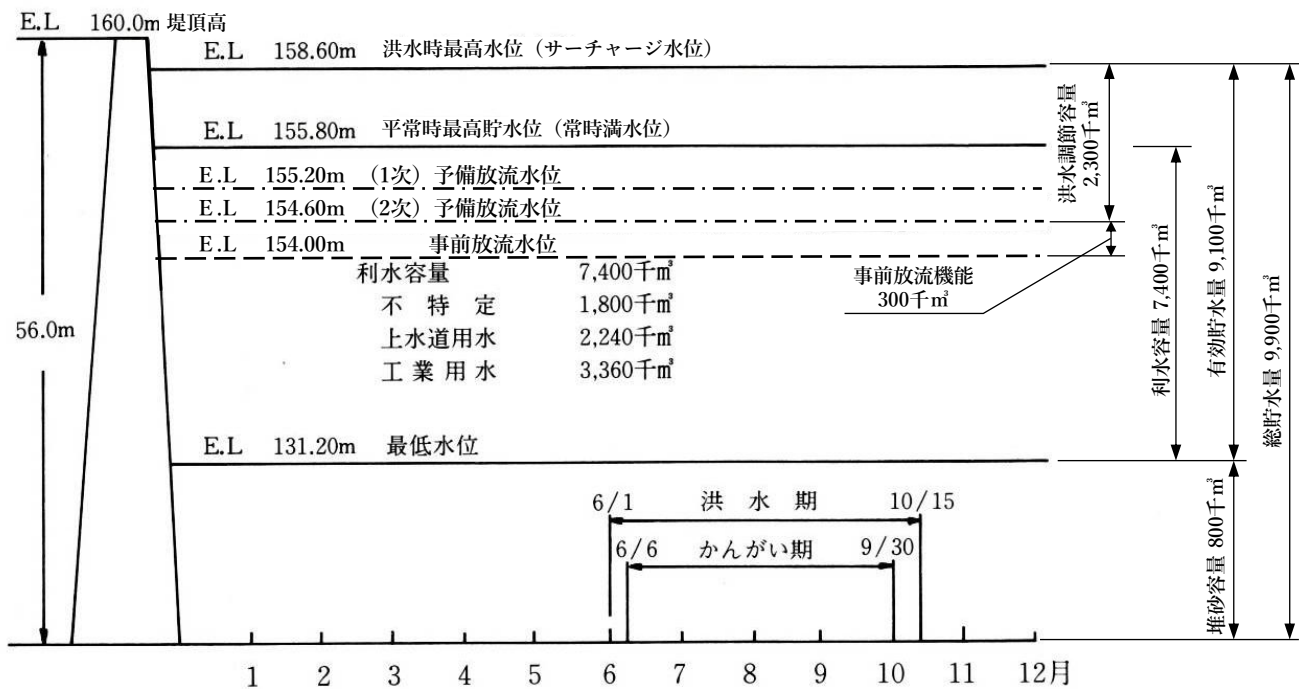
### (4)都市用水(上水道用水・工業用水)

蒼社川筋の今治市玉川町三反地の都市用取水堰(玉川取水堰)にて取水し、その後、上水道用水は今治市高橋の高橋浄水場まで導水し今治地域へ日量40,000m<sup>3</sup>、また、工業用水は今治市小泉の小泉浄水場まで導水し今治市の各工場へ日量60,000m<sup>3</sup>を供給する。

## 2 管理施設

テンターゲート	巾12.0m × 高8.2m クレストゲート 1門
放流管	φ1,100mm～850mm 1条 (減勢用バルブ付)
予備電源	発電機72KVA 1台 ディーゼルエンジン106PS 1台
雨量観測所	4ヶ所 (木地・玉川ダム・片山・鈍川)
水位観測所	4ヶ所 (中通・玉川ダム・高野・片山)
流量観測所	5ヶ所 (中通・高野・高野水路・長谷水路・鍛冶屋水路)
テレメータ施設	14ヶ所 (木地・片山・中通・高野・玉川ダム・三反地・小鴨部・蔵敷・鈍川・新蔵敷・法界寺・高橋・小泉・蒼社)
警報(サイロ・スピーカー)	5ヶ所 (玉川ダム・三反地・小鴨部・片山・蔵敷) スピーカーのみ6ヶ所 (高山、法界寺、高橋、小泉、蒼社、新蔵敷)
警報板	22ヶ所 (ダムー蒼社川河口)

## 3 貯水池容量配分図



# 施設名称



# 位置図



▲	雨量観測所	4ヶ所
●	水位観測所	4ヶ所
■	警報局 (サイレン・スピーカー)	5ヶ所
⊠	警報局 (スピーカー)	6ヶ所
■	集水区域	
■	洪水浸水想定区域 (想定最大規模降雨)	

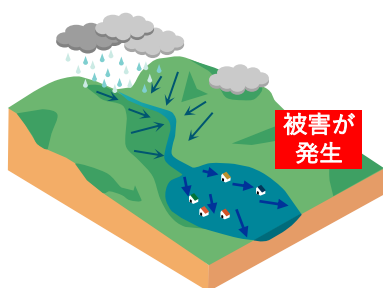
# Ⅱ 玉川ダムの役割

## 1 洪水調節

玉川ダムは、洪水時に蒼社川から流入する洪水の一部を貯留して放流することにより、ダム下流の河川水位上昇を抑え、ダム下流域の氾濫等による浸水被害を軽減させます。

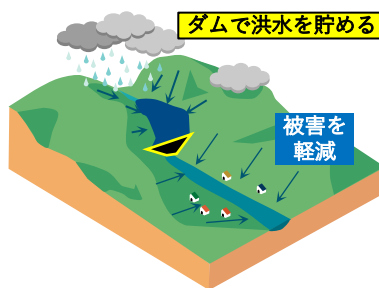
### ① ダムによる洪水調節の効果

#### ダムがない場合



上流からの洪水が、そのまま下流に流れるため、下流域では、氾濫等による被害が発生します。

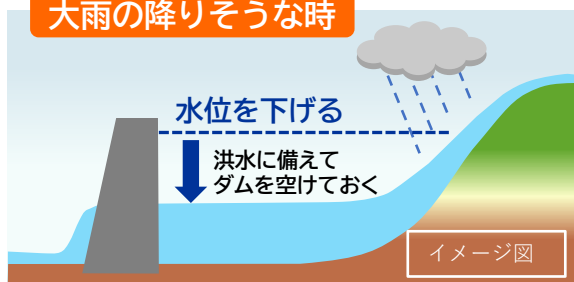
#### ダムがある場合



上流からの洪水の一部をダムに貯め、下流に流れる水量を減らすことができるため、下流域では、氾濫等による被害を軽減することができます。

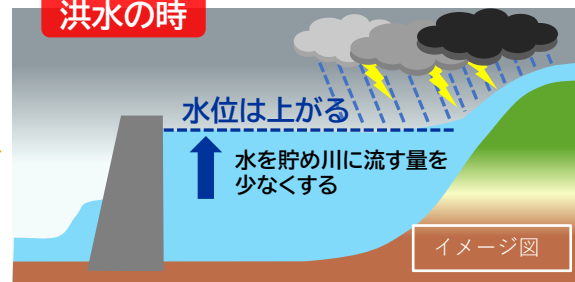
### ② ダムの洪水調節のしくみ

#### 大雨の降りそうな時



洪水をダムの貯水池に貯めるための準備として、ダムに流入する量より多い量を放流し、洪水調節に必要な容量を空けておきます。

#### 洪水の時



ダムに流入する洪水の一部をダムの貯水池に貯め込み、下流に流す水の量を調節します。しかし、ダムが満杯になると、ダムに流入する量とほぼ同じ量の放流を行う場合があります。

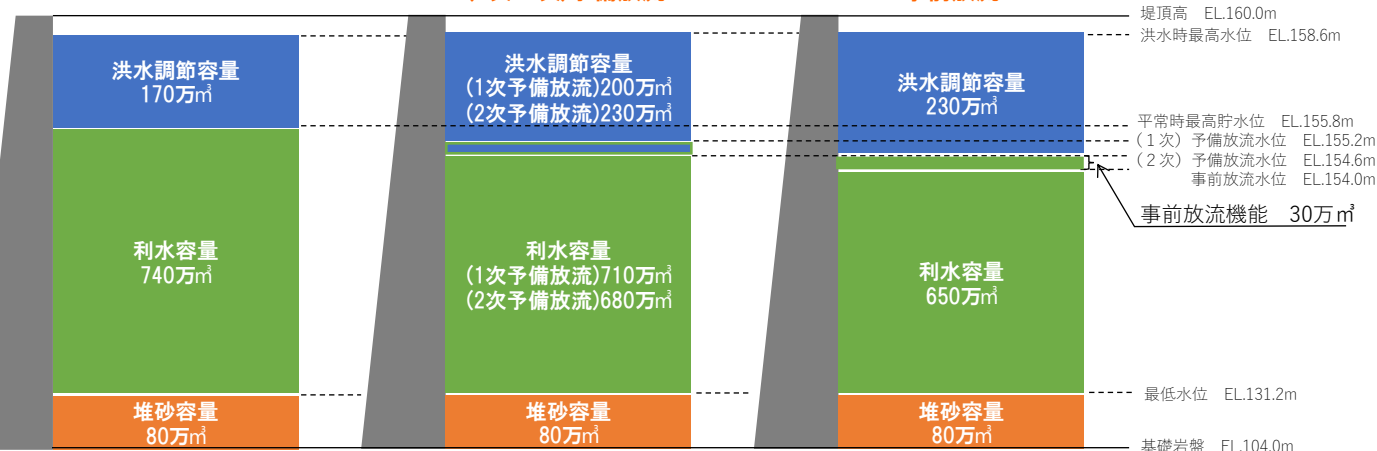
### ③ 玉川ダム容量配分図

#### 平常時

#### 洪水時

#### (1次・2次)予備放流

#### 事前放流



玉川ダムの容量配分は、ダム下流域の浸水被害を軽減するため豪雨時に流入する洪水の一部を貯留する「洪水調節容量」、平常時に農業用水、上水道用水、工業用水を安定的に供給する「利水容量」、洪水調節容量と利水容量を保つため、上流域から流入してくる土砂を貯める「堆砂容量」があります。

## ④ 玉川ダムの防災操作(洪水調節)

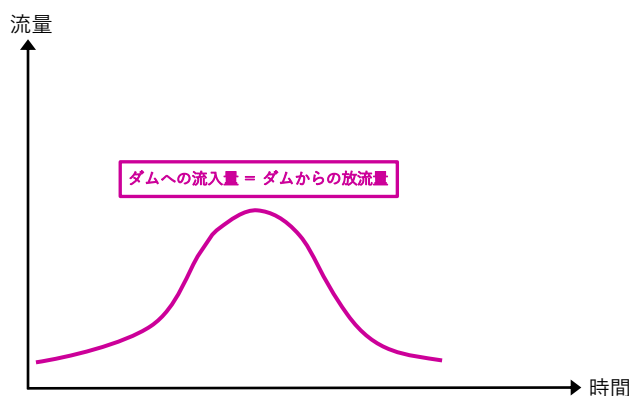
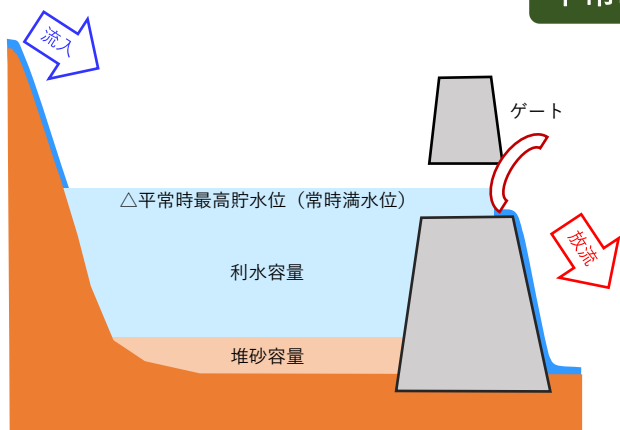
ダムの洪水調節機能の効果を高めるためには、できるだけダムを空にしておくことが望まれますが、安定的に農業・上水道・工業用水を供給する利水機能の効果を高めるためには、できるだけ多くの水を貯めておく必要があります。

玉川ダムでは、限られたダムの容量で相反する2つのダム機能を効果的に発揮するため、洪水調節の必要があると想定される場合に、空き容量を確保するために貯留水をあらかじめ放流する「予備放流」や「事前放流」を行うことがあります。

※「予備放流」とは、ダム計画に基づき、洪水調節の必要があると想定される場合に、平常時は利水容量内にある水の一部を前もって放流し、洪水調節容量（治水容量）を確保することです。

※「事前放流」とは、ダム計画には含まれておらず、あらかじめ利水容量の水を使う利水者の協力を得たうえで、予備放流を行っても、なお洪水調節容量が不足すると想定される場合に、利水容量内にある水の一部を放流し、洪水調節容量を一時的に増強することです。

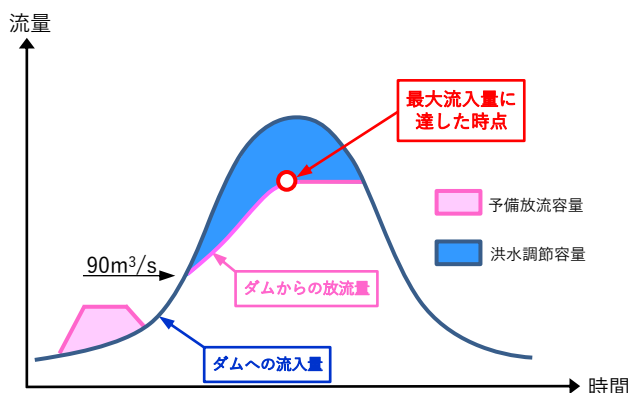
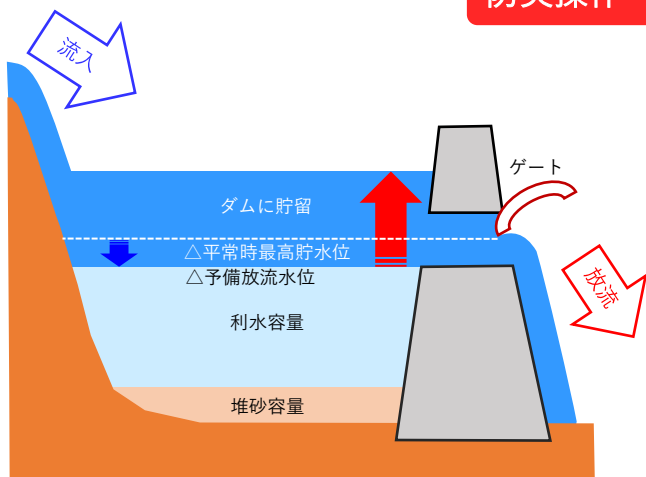
### 平常時



弱い雨の場合は、平常時最高貯水位（常時満水位）を維持するため、ゲート进行操作しダムへの流入量と同じ量をダムから放流します。

※平常時最高貯水位とは、利水容量の貯水率が100%の水位のことです。

### 防災操作（洪水調節）



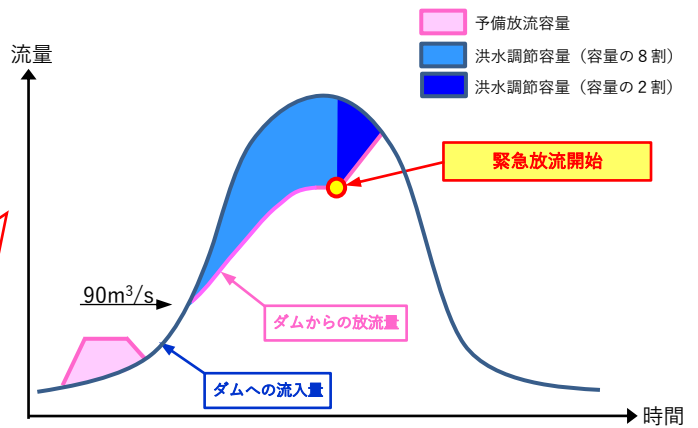
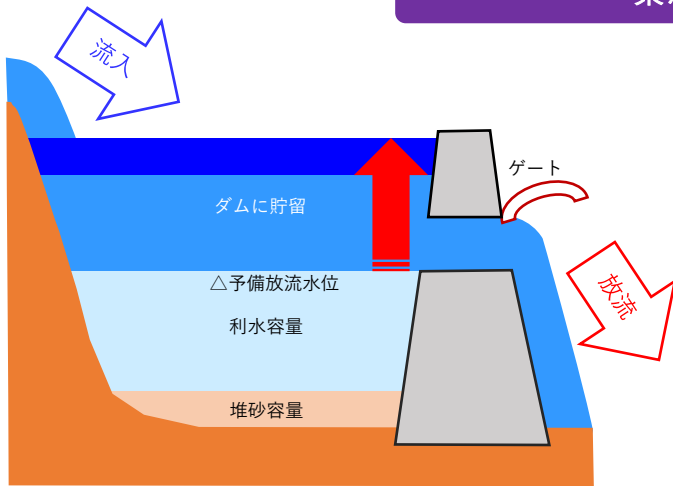
①強い雨の場合は、平常時最高貯水位（常時満水位）より低い予備放流水位や事前放流水位まで水位を下げます。

②その後、ダムへの流入量が $90 \text{ m}^3/\text{s}$ になるまでは、ゲート进行操作し流入量と同じ量をダムから放流します。

③ダムへの流入量がさらに増加する場合は、 $90 \text{ m}^3/\text{s}$ を超えた量の約7割の水をダムに貯留し、流入量が最大に達した後は放流量を一定にします。

(例) 流入量が $190 \text{ m}^3/\text{s}$ の場合、貯留量は $67 \text{ m}^3/\text{s}$ 、放流量は $123 \text{ m}^3/\text{s}$ となります。

# 緊急放流



非常に激しい雨や長時間強い雨が降り続き、ダムの容量が満杯になることが想定される場合には、ダムからの放流量をダムへの流入量に近づけ、放流量 = 流入量とする「緊急放流」を行う可能性があります。

※「緊急放流」とは、ダムが満水に近づいたときに、ダムからの放流量をダムの流入量と同程度となるよう近づけていき、満水になったら流入量と同じ量の放流を行うことです。（ダム操作の用語では「異常洪水時防災操作」（国土交通省HP防災用語ウェブサイト））

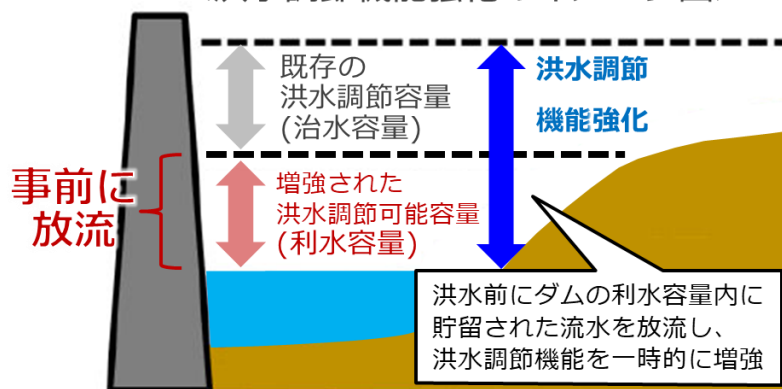
## 貯水率とは

貯水率の種類	内 容
利水容量貯水率	<ul style="list-style-type: none"> <li>利水容量内に貯まっている水の割合。</li> <li>一般的に、貯水率 100% は利水容量が満杯となっていることを表しています。</li> </ul>
有効容量貯水率	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水調節容量と利水容量を合わせたダムに貯めることができる全容量内に貯まっている水の割合。</li> <li>洪水時においてダムにどの程度の割合で水が貯まっているのか把握するために用いられます。</li> </ul>

## 事前放流(令和2年9月から運用開始)

水系	ダム名	基準降雨量 (予測値)	洪水調節容量 [既存]	洪水調節可能容量 [増加分]
蒼社川 (今治市)	玉川ダム	300mm/24h and 240mm/6h	230万m <sup>3</sup> 全容量990	30万m <sup>3</sup>

### <洪水調節機能強化のイメージ図>



※関係利水者の協力を得て、利水容量を洪水調節に活用

## ⑤ 防災操作(洪水調節)のための放流設備



### クレストゲート

ダムの堤頂部にある鋼製の大型ゲートで、降雨時には水位の維持や防災操作（洪水調節）で使用します。

ゲートは1門で、形式はテンターゲート、幅12.0m、高さ8.2m、重さ38.1tあります。

操作時には、ゲート上部建物内のモータ式巻き上げ機を作動させ、ワイヤーロープでゲートを上下させます。

## 2 利水放流調節

### ① 低水放流設備



### ホロージェットバルブ

ダムの下部にある鋼製の小型ゲートで、農業用水、上水道用水、工業用水を下流の河川に供給するために使用しています。

流量を細かく調整できる構造になっており、高い水圧を受け勢いよく放水します。

### ② 選択取水設備



### 選択取水塔

ダムの上流側にある取水を目的とした塔であり、内部には標高が異なる4つのスルースゲートがあり、濁りが少なく適温の水を取水できる構造になっています。

# Ⅲ 玉川ダムの放流情報の提供

## 1 防災操作(洪水調節)時

### ① 関係機関及び報道機関等への情報提供

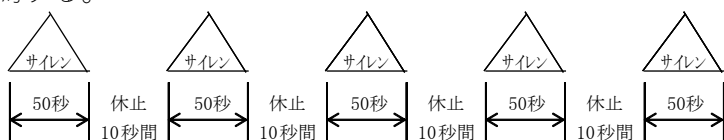
#### FAX及びメール等

- ゲート操作によるダムからの放流及び放流量の増加を**開始する1時間前**に「**開始時刻**」と「**最大放流量**」を通知する。
- 防災操作（洪水調節）**開始時**や**放流終了時**などにも通知する。

### ② ダム下流域への警報

#### サイレン

ゲート操作によるダムからの放流及び放流量の増加を**開始する30分前**にサイレンを吹鳴する。



#### スピーカー

ゲート操作によるダムからの放流及び放流量の増加を**開始する30分前**に「**開始時刻**」と「**最大放流量**」と水位上昇による危険性について注意喚起する

#### 警報車による放流警報

ダムから河口まで蒼社川沿いを巡回し、「**開始時刻**」と「**最大放流量**」と水位上昇による危険性についてスピーカーで注意喚起する。

### ③ 一般への情報提供

#### えひめ河川(かわ)メール

- ゲート操作によるダムからの放流及び放流量の増加を**開始する1時間前**にプッシュ型メールで配信する。
- 防災操作（洪水調節）**開始時**や**放流終了時**などにも通知する。

#### テレビのテロップ放送

各放送局のテレビ画面に放流情報がテロップで表示される。

### ダム放流情報の危険度

ダム放流情報の危険度レベルを関係機関及び報道機関通知とえひめ河川（かわ）メールに採用

段階	1（注意）	2（警戒）	3（危険）	4（非常事態）
基準値（放流量）	ゲートから放流あり	放流量増加(最大90m <sup>3</sup> /s超) 防災操作（洪水調節）90m <sup>3</sup> /s開始	放流量増加(最大190m <sup>3</sup> /s) 防災操作（洪水調節）190m <sup>3</sup> /s開始	緊急放流 移行の可能性あり

### えひめ河川(かわ)メール



#### ○雨量

（蒼社川関係観測所）  
今治、片山、  
玉川、玉川ダム  
木地、鈍川

#### ○河川水位

（蒼社川関係観測所）  
片山、高野

#### ○ダムからの放流

- 放流開始の1時間前
- 急激な河川水位上昇又は放流量増加の1時間前
- 防災操作（洪水調節）開始時
- 放流終了時
- 緊急放流移行の概ね1時間前
- 緊急放流移行開始時

# 2 緊急放流時

## ① 関係機関等への情報提供

### FAX及びメール等

緊急放流への**移行概ね1時間前**に「**移行開始予定時刻**」を通知する。  
緊急放流への**移行開始時**に「**操作開始**」を通知する。

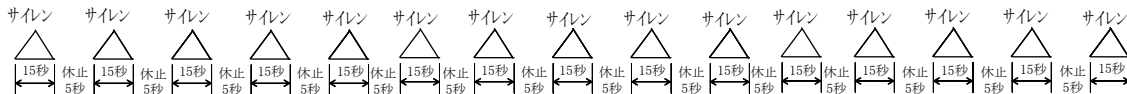
### ホットライン

玉川ダム管理事務所から今治市及び今治警察署に直接電話で情報提供する。

## ② ダム下流域への警報

### サイレン

緊急放流の**移行概ね1時間前**にサイレンを吹鳴する。  
サイレンの吹鳴回数を**15秒×15回**にする。



### スピーカー

緊急性や切迫感がより伝わるよう放送する。

#### 【緊急放流移行概ね1時間前】

こちらは玉川ダム管理事務所です。  
玉川ダムでは、異常洪水によりダムが満水になるおそれがあります。そのため、□□月□□日□□時□□分頃から、ダムへの流入量をそのまま放流する緊急放流を開始する予定です。  
蒼社川下流域では、全域で河川氾らん危険性がありますので、今治市の指示に従い、ただちに命を守る行動をとってください。

## ③ 一般への情報提供

### えひめ河川(かわ)メール

緊急放流の**移行概ね1時間前**と**移行開始時**にプッシュ型メールで緊急性や切迫感が伝わるよう配信する。

#### 【緊急放流移行概ね1時間前】

今治市にある玉川ダムでは、異常洪水によりダムが満水になるおそれがあります。そのため、□□月□□日□□時□□分頃から、ダムへの流入量をそのまま放流する緊急放流を開始する予定です。  
蒼社川下流域では、全域で河川氾らん危険性がありますので、下流域の住民は自治体の指示に従い、ただちに命を守る行動をとってください。  
《ユニバーサルデザインにおける警戒の段階：4（非常事態）》

### テレビのテロップ放送

各放送局のテレビ画面に緊急放流の情報をテロップで表示される。

## その他の河川やダムの情報提供

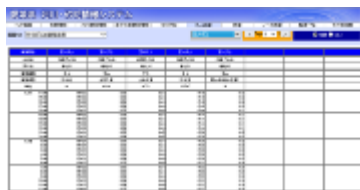
### テレビのデータ放送



リアルタイムのダム流入量と流出量

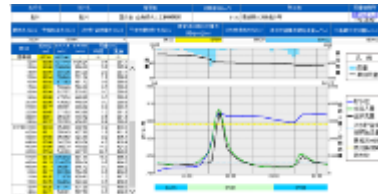
### Webサイト

#### 愛媛県河川・砂防情報システム



過去からの雨量、河川水位、ダム流入量と流出量、貯水率等

#### 国土交通省「川の防災情報」



# ～ 玉川ダムに関するお知らせ ～

玉川ダムでは、災害時における住民のみなさまの迅速かつ円滑な避難に繋がるように、以下のツールを活用して、**観測情報**や**放流情報**を発信しています。

## 国土交通省・川の防災情報

大雨時の川の氾濫の危険性を知らせる  
国土交通省のウェブサイト

スマートフォン版サイト  
<http://www.river.go.jp/s/>



玉川ダムの諸量（貯水位、流入量、放流量、貯水量、貯水率）の他、周辺のレーダ雨量等がリアルタイムで公表されています。



## えひめ河川メール

えひめ河川メールに登録頂くと、玉川ダムの放流情報がみなさまお使いのスマートフォン、パソコン、携帯電話にメール配信されます。



<https://www.pref.ehime.jp/page/5034.html>

えひめ河川メールの登録については、こちらの二次元コードから実施頂けます。



## 愛媛県河川・砂防情報システム

大雨や洪水時に役に立つ気象情報、河川警戒情報、土砂災害警戒情報、河川水位、ダム諸量（流入量・放流量・貯水率など）、雨量、警報等の発令状況、ダム放流情報、河川監視カメラ情報をリアルタイムで提供するサイトです。



<http://kasensabo.pref.ehime.jp/dosha/>

いざという時にすぐに避難できるように  
日頃から準備しておきましょう！！



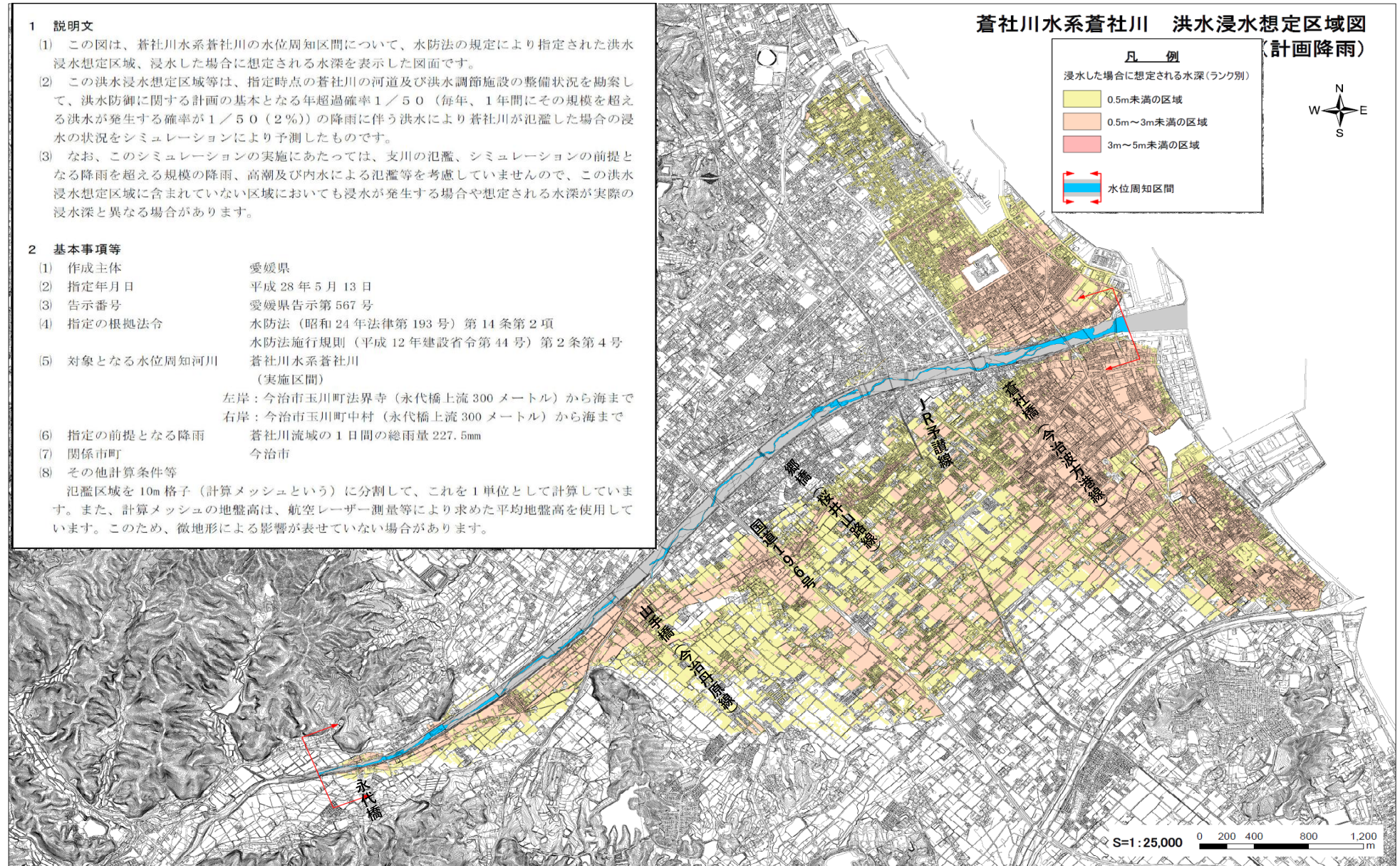
# 蒼社川 洪水浸水想定区域について

ホームページアドレス

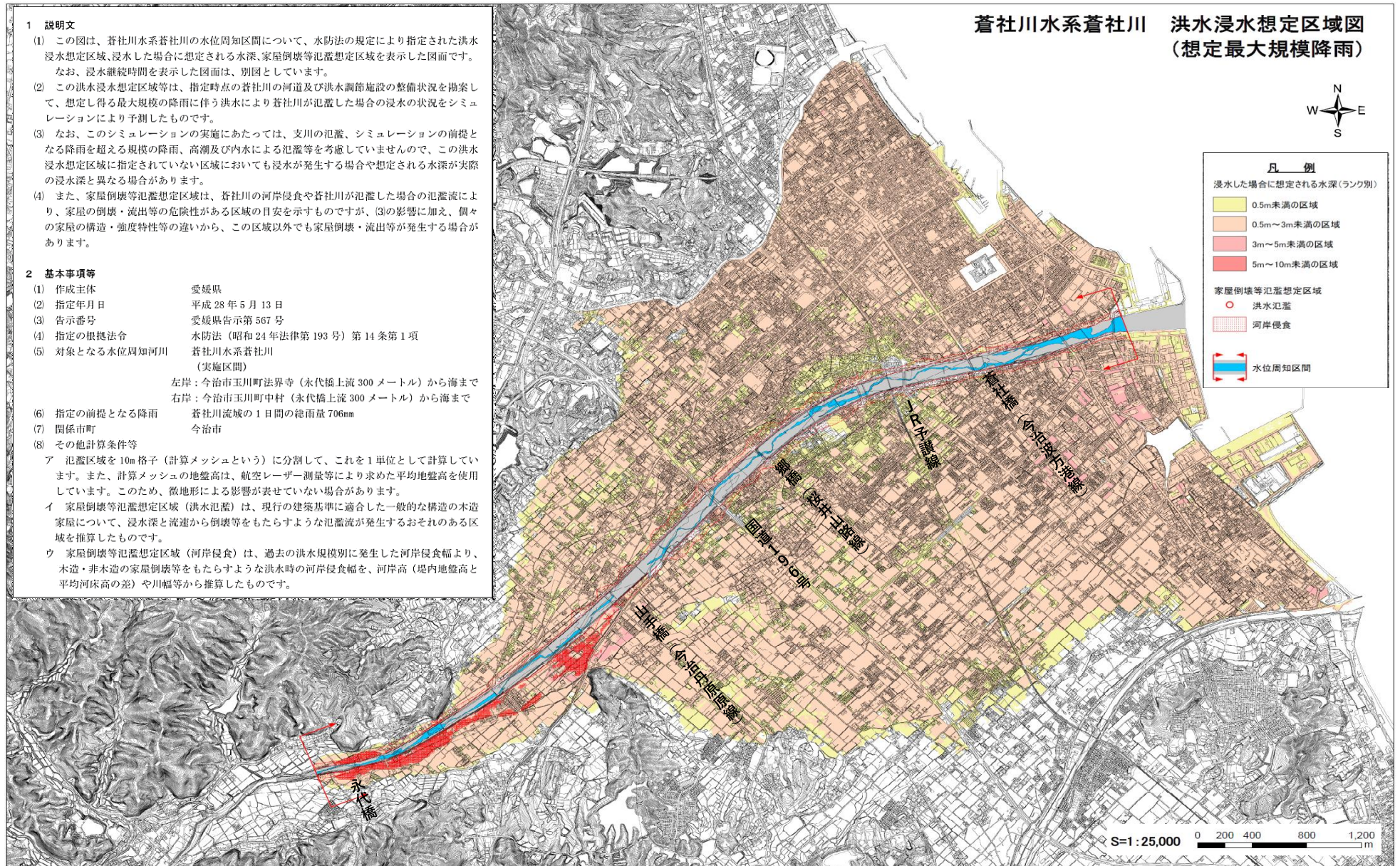
<https://www.pref.ehime.jp/h40600/suibou/kouzui-sinsuisouteikuikizu-itiran.html>

資料-3

## ○蒼社川洪水浸水想定区域図（計画降雨）は、50年に1度降る可能性がある降雨（1日雨量227.5mm）の場合



# ○蒼社川洪水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）は、想定される最大規模の降雨（1日雨量706mm）の場合



## 避難指示等の発令区分や判断基準について

# 警戒レベル4 避難指示までに必ず避難

市町村からの避難情報発令前でも自らの判断で避難しましょう

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	きんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b> ※1
<b>&lt;警戒レベル4までに必ず避難!&gt;</b>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	ひなんしじ <b>避難指示</b>
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※2
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	レベル2 大雨・土砂災害・氾濫・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。また、警戒レベル相当情報(氾濫発生情報、土砂災害警戒情報)が発表されたとしても、必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者や障害のある人、妊産婦、乳幼児連れの人など、避難に時間がかかる人は避難を開始するタイミングです。それ以外の人も、必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

⚠ ハザードマップを確認し、自宅の災害リスクと、取るべき行動を確認しましょう。

⚠ 「避難」とは「難」を「避」けることです。  
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。  
屋内で安全を確保することも考えられます。

※屋内安全確保は「3つの条件」を満たす場合に検討する行動です。  
詳細は裏面を確認しましょう。



ハザードマップポータルサイト 検索

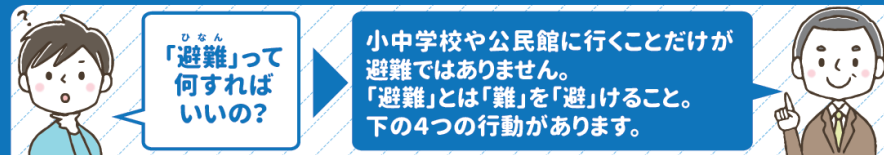
避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人、  
妊産婦、乳幼児連れの人などは、  
**警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難しましょう。**

**警戒レベル4避難指示までに  
自らの判断で危険な場所から  
全員避難しましょう。**

※避難勧告は廃止されました。  
(令和3年5月20日から)

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません。**

内閣府(防災担当)・消防庁



## 行政が指定した避難場所への立退き避難

命を守るために緊急的に避難する場所です。

※避難所と避難場所の違いに注意しましょう。避難所はその後の避難生活を送るための施設なので、切迫した災害の危険から逃れるためには避難場所に避難しましょう。  
※避難所と避難場所は相互に兼ねている場合もあります。



## 安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

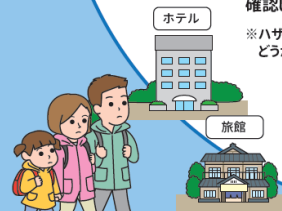


普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

## 安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要  
です。事前に予約・  
確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



## 屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。

想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない(入っていると・・・)



② 浸水深より居室は高い

3・4階 5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)

2階 3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)

1階 0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)

1階床下 0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分(十分じゃないと・・・)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

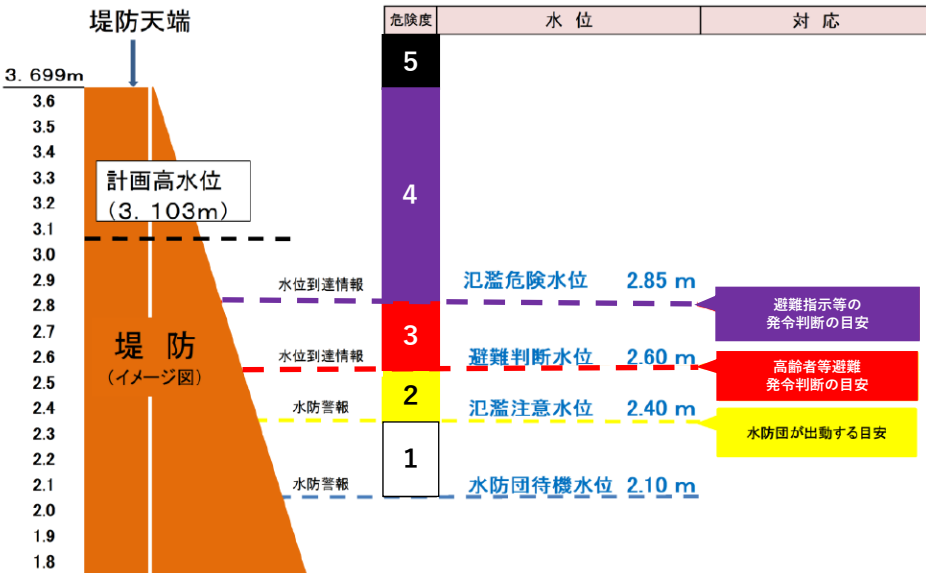
豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。自主的に早めの避難をしましょう。

# 今治市地域防災計画・今治市水防計画（参照）

## 水位レベル・名称・防災行動

水位レベル	名称	防災行動
水位レベル5	氾濫発生	
水位レベル4	氾濫危険水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長は避難指示を発令</li> <li>住民は避難を開始し、避難が困難な場合は危険回避行動を徹底</li> </ul> <b>2.85m</b>
水位レベル3	避難判断水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長は高齢者避難を発令</li> <li>高齢者等要配慮者は避難を開始</li> <li>住民は避難準備を開始</li> </ul> <b>2.60m</b>
水位レベル2	氾濫注意水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団は堤防巡視等の水防活動実施</li> </ul> <b>2.40m</b>
水位レベル1	水防団待機水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団は出動人員配置や機材準備</li> </ul> <b>2.10m</b>

## 蒼社川(片山観測所)



※参照資料を抜粋し、部分的に着色及び加工しています。

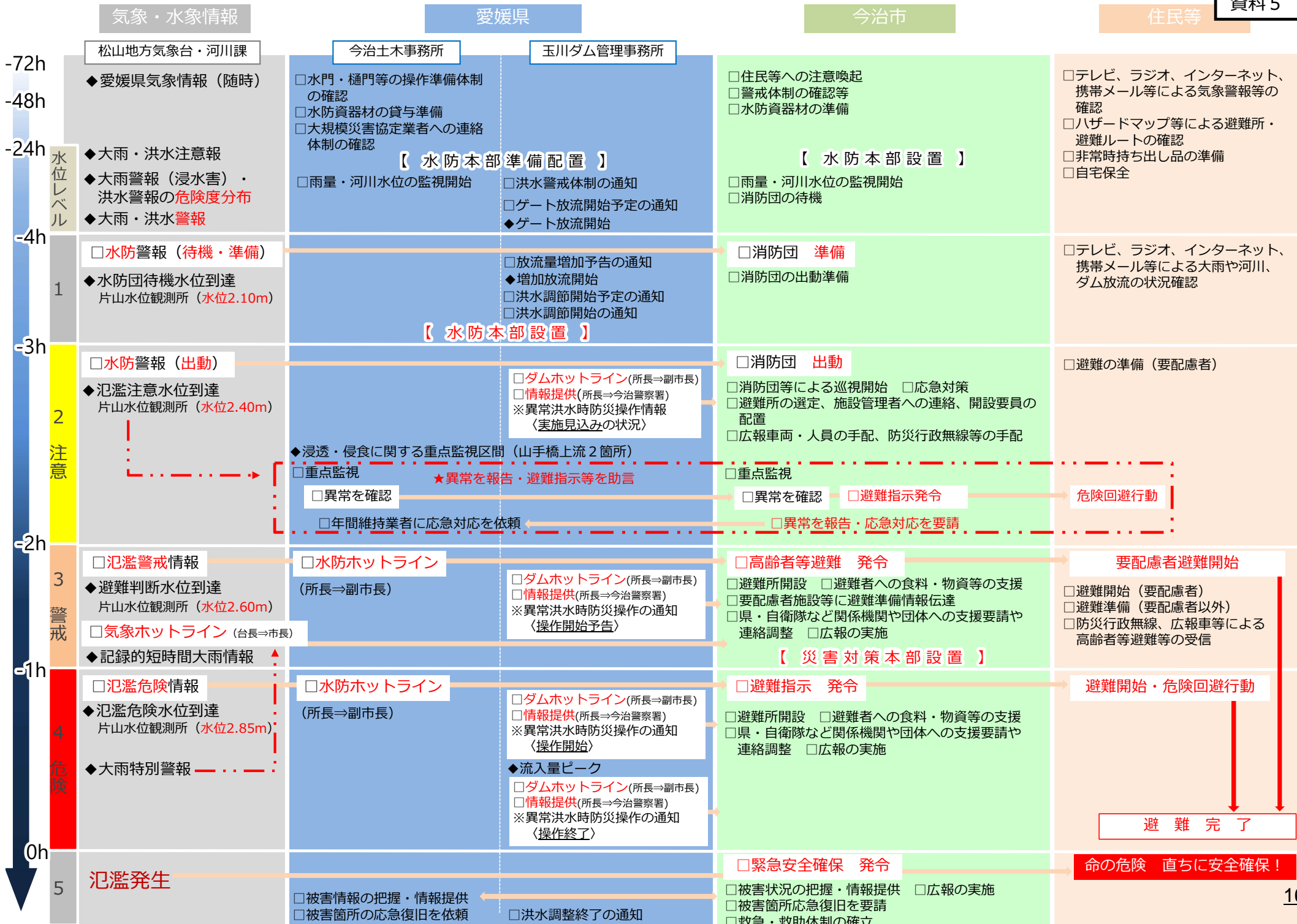
## 避難指示等の発令基準【玉川ダム異常洪水時防災操作に伴う河川洪水】

警戒レベル	区分	発令基準
警戒レベル5	緊急安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉川ダム異常洪水時防災操作により、「避難指示等の発令基準【河川洪水・蒼社川】」における緊急安全確保基準に該当することが見込まれる場合</li> <li>既に避難指示を発令している場合は、即座に緊急安全確保に切替えるものとする。</li> </ul>
警戒レベル4	避難指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉川ダム異常洪水時防災操作により、「避難指示等の発令基準【河川洪水・蒼社川】」における避難指示基準に該当することが見込まれる場合</li> </ul>

※玉川ダム異常洪水時防災操作に伴う河川洪水に対する避難指示、緊急安全確保の発令にあたっては、河川管理者から必要な情報提供、助言等を受けるものとする。

## 避難指示等の発令基準【河川洪水・蒼社川】

警戒レベル	区分	片山観測所水位 (m)
警戒レベル5	緊急安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>水位が堤防高(背後地盤高)に到達するおそれが高い場合(越水・溢水のおそれのある場合)</li> <li>洪水警報の危険度分布で「災害切迫(黒)」が出現した場合(流域雨量指数が実況で大雨特別警報(浸水害)の基準に到達した場合)</li> <li>異常な漏水の進行や亀裂・すべりの発生等により決壊のおそれが高まった場合</li> <li>決壊や越流が発生した場合</li> <li>樋門・水門等の施設の機能障害が発見された場合や排水機場の運転を停止せざるをえない場合(支川合流部の氾濫のため発令対象区域を限定する。)</li> <li>浸透・浸食に関する重点監視区間において、堤防の欠損、クラック、漏水、その他破損等が発見された場合</li> </ul>
警戒レベル4	避難指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>氾濫危険水位(2.85m)洪水により相当程度の家屋浸水等の被害を生ずる氾濫が起こるおそれのある水位)に達したとき。</li> <li>水位観測所の水位が氾濫注意水位等に到達し、次の①～③のいずれかにより、急激な水位上昇のおそれがある場合</li> <li>①上流の水位が急激に上昇している場合</li> <li>②洪水警報の危険度分布で「危険(紫)」が出現した場合(流域雨量指数が実況又は予測値で洪水警報基準に到達する場合)</li> <li>③上流で大量又は強い降雨が見込まれる場合(実況雨量や予測雨量により判断)</li> <li>浸透・浸食に関する重点監視区間において、堤防に異常な漏水・侵食等が発見されたとき。</li> <li>警戒レベル4 避難指示の発令が必要となるような強い降雨を伴う前線や台風等が、夜間から明け方に接近・通過することが予想されるとき(夕刻時点で発令)。</li> <li>警戒レベル4 避難指示の発令が必要となるような強い降雨を伴う台風等が、立退避難が困難となる暴風を伴い接近・通過することが予想されるとき(立退避難中に暴風が吹き始めることがないよう暴風警報の発表後速やかに発令)。</li> </ul>
警戒レベル3	高齢者等避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難判断水位(2.60m) 住民への氾濫に関する情報：注意喚起、水防団が出動し、警戒にあたる水位)に達したとき。</li> <li>水位観測所の水位が水防団待機水位等に到達し、次の①～③のいずれかにより、急激な水位上昇のおそれがあるとき。</li> <li>①上流の水位が急激に上昇している場合</li> <li>②洪水警報の危険度分布で「警戒(赤)」が出現した場合(流域雨量指数が実況又は予測値で洪水警報基準に到達する場合)</li> <li>③上流で大量又は強い降雨が見込まれる場合(実況雨量や予測雨量により判断)</li> <li>浸透・浸食に関する重点監視区間において、堤防に軽微な漏水・侵食等が発見されたとき。</li> <li>警戒レベル3 高齢者等避難の発令が必要となるような強い降雨を伴う前線や台風等が、夜間から明け方に接近・通過することが予想されるとき(夕刻時点で発令)。</li> </ul>



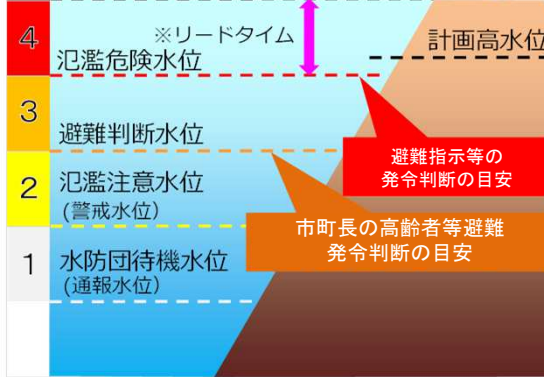
■水位レベル1 水防団待機水位

➢消防団は出動人員配置や機材準備

■水位レベル2 氾濫注意水位

➢消防団は堤防巡視等の水防活動実施

5 氾濫発生



■水位レベル3 避難判断水位

➢市長は高齢者等避難を発令  
➢高齢者等要配慮者は避難を開始  
➢住民は避難準備を開始

■水位レベル4 氾濫危険水位

➢市長は避難指示を発令  
➢住民は避難を開始し、避難が困難な場合は危険回避行動を徹底

水位レベル4 (避難指示)  
**危険な場所から  
全員避難!**

ホットライン

①水防ホットライン (今治土木事務所長⇒今治市副市長)

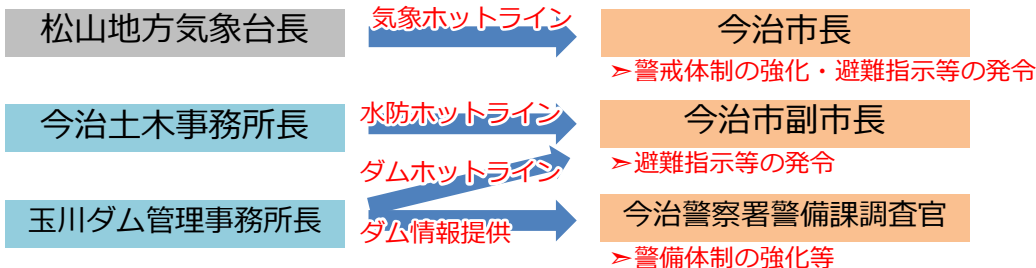
- タイミング：避難判断水位 (2.60m) 到達時点  
氾濫危険水位 (2.85m) 到達時点
- 伝達内容：各水位の到達情報、被害の発生状況等

②ダムホットライン (玉川ダム管理事務所長⇒今治市副市長)

- タイミング：異常洪水時防災操作にかかる各時点  
実施見込み・操作開始予告・操作開始・操作終了
- 伝達内容：各種操作内容とその時刻
- ※同情報は、今治警察署警備課調査官にあわせて情報提供する。

③気象ホットライン (松山地方気象台長⇒今治市長)

- タイミング：大雨特別警報を発表する準備となった場合、または発表した場合
- 伝達事項：「命に危険が及ぶ災害がすでに発生していてもおかしくない、数十年に一度のこれまでに経験したことがないような異常事態である」ことを伝達



■監視体制：今治市・今治土木事務所

- 監視区間：①山手橋から上流 (右岸) L = 60m区間  
②五十嵐堰から上流 (右岸) L = 160m区間

■監視開始：氾濫注意水位 (2.40m) に達した時点

■監視内容：堤防の欠損、クラック、漏水、その他破損の有無

■情報伝達：異常確認時には、今治市・今治土木事務所にて情報伝達

- 措置：今治市は、水防活動を実施、避難指示等の発令を判断  
今治土木事務所は、応急対応を実施



防災情報の発信

■愛媛県

- 愛媛県河川・砂防情報システム (<http://kasensabo.pref.ehime.jp/dosha/>)  
雨量・河川水位・ダム諸量等
- 河川監視カメラ (<http://www.pref.ehime.jp/kasen/Default.htm>)
- えひめ河川メール (事前登録アラームメール) (<http://www.kasenalarm.pref.ehime.jp>)  
雨量、河川水位、ダム放流 (放流開始予告※、増加放流予告※、放流停止、異常洪水時防災操作予定通知※)  
※ゲート操作の概ね1時間前に配信する情報

■今治市

- 今治市防災情報ポータル (<https://city-imabari.my.salesforce-sites.com/>)  
避難指示等の情報、避難所情報、ハザードマップ等

■気象庁

- 大雨情報 (<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)  
大雨・洪水の危険度分布、気象警報・注意報、雨の様子

■国土交通省

- 浸水ナビ (<http://suiboumap.gis.go.jp/>)  
氾濫想定地点ごとの「浸水区域・浸水深さ」「洪水到達時間」「浸水継続時間」